

国民スポーツ大会 選手選考基準（令和8年度版）

北海道バドミントン協会
選手強化委員会

【成年男女選考基準】

1. 「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の対象選手のうち、当該年の3月末時点での国内ランキング上位10位以内の者が、同年4月末までに本大会への参加意思を表明した場合は、特例措置を適用し選考対象者とする。
2. 北海道出身選手として実績を持つ選手が、日本バドミントン協会の主催事業もしくは国際大会など上位の事業参加により北海道予選会に参加できない場合は、当該年の4月末までに本大会への参加意思を表明した場合は、選考対象者とする。
3. 国民スポーツ大会北海道予選会において、シングルス及びダブルスの各3位までの選手を選考対象者とし、前2項の対象者とともにより下記大会の成績も参考に北海道協会強化委員会で審議・選出し、北海道協会選手選考委員会で決定する。
なお、選出にあたっては代表決定戦を行う場合もある。
代表決定戦は、北海道で開催し、参加にあたっての旅費は自己負担とする。

■参考大会

- ①全国大会規模：日本ランキングサーキット
- ②その他：北海道社会人選手権大会、北海道選手権大会、各県等学生選手権大会、各ブロック大会（総合予選等）

【少年男女選考基準】

1. 国民スポーツ大会北海道予選会におけるシングルス1位とダブルス1位の3名を基本とし、シングルス1位とダブルス1位が重複する場合は、重複していないシングルス上位者から選考する。
2. 前項1のダブルス1位については、ペアのどちらかが北海道予選会のシングルスにおいて5位以上とする。
3. 上記基準により選考された選手から辞退者が出た場合、もしくはダブルス1位が上記基準を満たしていない場合、ダブルス及びシングルの総合力を基に北海道バドミントン協会選手強化委員会で審議・選考し、北海道バドミントン協会選手選考委員会で決定する。

■国民スポーツ大会北海道予選会で内定した選手のうち、少年男女の入れ替わり条件

（①と②の両方が条件）

- ①6月の北海道高体連（インターハイ北海道予選会）において南北決勝で負ける。
- ②全国高体連（インターハイ本選）で国民スポーツ大会の内定選手に勝った選手がベスト8に入賞する。